



Rice and Straw
Shimenawa Artisan
Kiyoshi Joko

米と藁。

しめ縄職人 上甲 清 展

ともに
時に
生き、
紡ぐ。

December 14 Sat → 26 Thu, 2024

会場：21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3 開館時間：10:00-18:00 会期中休休 入場料：無料
主催・お問い合わせ：株式会社メソッド TEL03-6427-9296 企画：株式会社マウンテンモーニング、基プロジェクト
協賛：JAMIS&CO合同会社 協力：富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、愛知県農林本部
Venue: 21_21 DESIGN SIGHT Gallery 3 Opening hours: 10:00-18:00 Open Everyday / Admission: Free Organized by: method Inc.
Planned by: Mountain Morning, M&O PROJECT Sponsor: JAMIS&CO LLC Support: FUJIFILM Imaging Systems Co., Ltd.
In association with: CHNPA Promotion Headquarters, Chiba Prefectural Government

GALLERY 3
21_21

「米と藁。ー しめ縄職人 上甲 清 展」

2024 年 12 月 14 日（土）から 26 日（木）の期間

21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 3 にて開催します。

展覧会について

愛媛県西予市で半世紀以上もの間、しめ縄職人として活動する上甲 清（じょうこう・きよし）。しめ縄専用の稲を自ら栽培して、田植えから稲刈りまで丹精を込めて行います。こだわり抜いて出来上がった藁と手を擦り合わせながら、一つひとつ力を込めて縄（な）っていきます。

健康や平和、五穀豊穡の祈りを込め、上甲 清によって生み出されたしめ縄作品は、一年の締めくくりに春待つ喜びを象徴するプロダクトとして、全国各地の民藝店やセレクトショップを通じて、人々の手に渡っています。そんな彼の営み、伝統的な手仕事や文化とそこから生まれる藁細工をより多くの人に知ってもらいたいという思いのもと、彼の孫である上甲智香（じょうこう・ちか）が2021年に立ち上げた「孫プロジェクト」があります。

本展は、この「孫プロジェクト」に共感した Mountain Morning（マウンテンモーニング・インテリアスタイリスト作原文子、ディレクター今井 孝則）が、孫・上甲智香の想いを受け企画、上甲 清の製作に伴走するかたちで、フォトグラファーとともに愛媛に渡り、田植えや製作の様子を写真・映像に収めました。本展は、この映像や写真の展示、また作原文子によるスタイリングを織り交ぜた空間演出を通し、広く藁文化に触れ、体験していただける場を作り、多角的にプロジェクトを紹介していきます。

自然と共に生き、時を紡ぐその姿に、分野の垣根を超えた多くの作り手が呼応し、彼の活動に賛同してきました。朗らかで真摯な物づくりを通じて、人と人との縁を結び、思いを繋ぐ上甲 清と孫プロジェクトの歩みをご覧ください。

INTRODUCTION

私が上甲 清さんと出会ったのは、愛媛県松山市で行われた、「道後アート 2024」に、参加クリエイターとしてお声がけいただいたことがきっかけでした。

愛媛で生まれ育ち製作活動が続ける方々や、人々の暮らしを支えてきたモノとの出会いからは、多くの学びがあり、「道後アート 2024」への参加は、私にたくさんの繋がりを与えてくれました。その中でも、上甲 清さん、孫の上甲智香さんとは、特別なコミュニケーションが生まれました。イベントの制作スタッフの紹介で訪れた、若手オーナーが営む古着屋さんで、上甲さんが作った藁細工の亀に出会い、この方にお会いしたいという気持ちから作業場を訪問させていただき、智香さんが運営する「孫プロジェクト」の活動を知りました。そして以前から、東京の民藝店で私が購入していたしめ縄が、上甲さんの作品であることも、その時知ったのです。その後、道後アートの自分のインスタレーションに、上甲さんの藁細工を取り入れ、会期中に行われたトークイベントでは、短い時間の中で色々なお話をさせていただきました。

そんなやりとりの中、智香さんから、「祖父の展示と一緒に考えてもらえないか」と相談を受けました。光栄な気持ちで嬉しく思う一方、私たちに何ができるのかと最初は悩みました。しかし、作業場をたびたび訪れ、田植えや稲刈りに参加し、上甲さんの笑顔と人柄を知れば知るほど、彼が守ってきた藁文化を、何かカタチにして残さなければという気持ちが強くなっていったのです。その思いに賛同してくれた仲間や、普段からご協力いただいている方々のサポートのもと、幸運にもこの展示は開催に至りました。

米と藁。それは、上甲 清さんの生き様を記録した企画展です。一人でも多くの方々に、藁文化を知っていただける機会となりますように。そして、今回の展示開催のために、ご協力いただいた全ての皆さまへ、心より感謝いたします。

インテリアスタイリスト・作原文子
Mountain Morning



写真：当山礼子

上甲 清（じょうこう・きよし、農家・しめ縄職人）

1936 年生まれ。愛媛県西予市宇和町に工房を構える藁職人。

2002 年、消えゆく藁文化を将来に残すため「宇和わらぐろの会」を発足し、全国各地で大会やイベントに参加。2021 年 21 世紀えひめの伝統工芸大賞 愛媛朝日テレビ社長賞 受賞。藁文化が未来へと受け継がれることを願い現在も活動中。

上甲智香（じょうこう・ちか、孫プロジェクト代表）

工芸品を扱うショップ販売員を経験し、職人としての祖父・清の作品に催事企画を通じて触れたことをきっかけに、作品を流通・発信させる活動体として「孫プロジェクト」を立ち上げる。現在は、祖父と共に農家として、材料作りから制作のサポートにも携わる。



写真：当山礼子

当山礼子 | フォトグラファー（ドキュメント・ポートレート撮影）

沖縄県生まれ。

2015 年からフォトグラファーとして雑誌、広告、web メディアなどで活動中。

2023 年 3 月、ロンドンの街を撮り下ろした写真集『SEPTEMBER IN LONDON』（Union Publishing Limited）を刊行。

山口恵史 | フォトグラファー（静物撮影）

1971 年 大阪生まれ。 静物写真を専門に、雑誌、広告、カタログなど幅広く活動中。

岡川太郎 | 映像ディレクター

大阪芸術大学 芸術学部 映像学科 卒業。フリーランスのビデオディレクターとして活動中。



めがね（本展限定デザイン）¥4,400



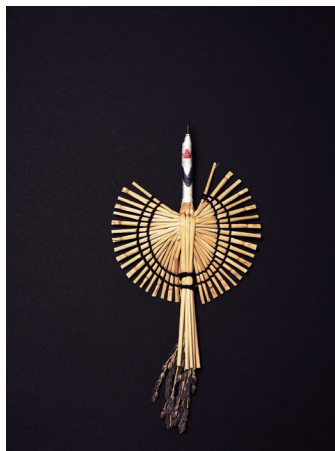
三代亀 ¥17,600



ミニわらぐろ ¥16,500



えび締め ¥11,000



鶴 ¥3,850



しめ縄 ¥8,250

写真：山口恵史

* 販売作品は数量限定につき、完売の際は悪しからずご了承ください。また、ご購入いただくお客様へ、個数制限等をご案内する場合がございます。

開催概要

米と藁。しめ縄職人 上甲 清 展 —ともに生き、時を紡ぐ。

会期：2024 年 12 月 14 日（土）～ 12 月 26 日（木）

時間：10:00 ～ 19:00

休館日：なし

入館料：無料

会場：21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 3

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-6

URL：https://www.2121designsight.jp/gallery3/rice_and_straw/

主催：method Inc.

企画：株式会社マウンテンモーニング、孫プロジェクト

協賛：JAMS & CO 合同会社

協力：富士フィルムイメージングシステムズ株式会社 /

愛媛県営業本部 / 株式会社 NINO /

石木地域づくりセンター

12 月 13 日（金）14:00 ～ 16:00 メディア向けプレスプレビューを開催します。物販エリアでは会期同様に商品のお買い求めいただけます。また、プレビュー中には、上甲 清によるしめ縄制作の実演を行う予定です。

取材・参加ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

14:00 プレスプレビュー開場

14:30 ～ 15:00 Mountain Morning（作原文子・今井孝則）と「孫プロジェクト」代表・上甲智香によるギャラリートーク

聞き手：method 山田 遊

16:00 会場整備のため一時閉場

17:00 ～ 19:00 オープニングパーティー

* フードケータリングとして、上甲家の育てた米を使って、料理家・麻生要一郎が特製おにぎりを作り振る舞います。

21_21 DESIGN SIGHT はデザインを通じてさまざまなできごとやものごとについて考え、世界に向けて発信し、提案を行う場です。デザイナーをはじめ、エンジニアや職人、企業、一般ユーザーなど、あらゆる人々が参加し、デザインについての理解と関心を育てていくことを目指しています。

21_21 DESIGN SIGHT では「日常」をテーマにした展覧会を中心に、トークやワークショップなど多角的なプログラムを通じて、訪れる人がデザインの楽しさに触れ、新鮮な驚きに満ちた体験をすることができます。



写真：吉村昌也

21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 3

建築は安藤忠雄氏。一枚の天板を折り曲げたような独創的な屋根は、三宅一生の服作りのコンセプトである「一枚の布」の着想を得ています。

21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 3 は、ものづくりの大きな拠点の一つである国内外の企業をはじめ、教育・研究・文化機関との連携プログラムを展開する、デザインのプレゼンテーションスペースです。ここでは、デザインのまさに今を知るプログラムを通して、私たちの生活や未来をより多くの人と考え、提案します。

ギャラリー 3 貸し出し等につきましては、直接、21_21 DESIGN SIGHT へお問い合わせ下さい。 <http://www.2121designsight.jp/gallery3/leasing/inquiry.html>

企画・主催企業について

企画：Mountain Morning | マウンテンモーニング

Mountain Morning

人やモノが出会い、関わり、そこで生まれる意外性を楽しみ、喜びを分かち合いながら、互いのリスペクトによって新しいものを生み出していくコミュニティとして、インテリアスタイリスト 作原文子が、ディレクターの今井孝則と共に 2015 年に立ち上げたプロジェクトであり活動体。空間のプロデュースやブランド・店舗のディレクション、商品開発、そしてコミュニケーションデザインなどを通して、様々な人とアイデアをシェアし、有機的に繋がりながら、心地いい風景を共有していくことを目指している。 <https://www.mountainmorning.jp/>

主催：method | メソッド

method

英和辞典で引くと「method（メソッド）」は、「方法・方式・方法論・順序・筋道・秩序」などの意を含む単語です。

そして私たち method は、デザインや工芸、美術、ファッション、美容、果ては食に至るまで、あらゆる領域で産み出されるモノ、また、モノを産み出すヒトと密接に関わりながら、店づくりを中心に、日々、様々な仕事をしています。

私たちは、価値があると信じられるモノたちとの関わりを通じて、それらを作り上げる人々を支え、背中を押し、時には一緒に悩みながら、ともに歩み、前へと進んでいくことを願っています。現代的・伝統的を問わず、今のモノづくりを取り巻く共同体の一員として、持続的な在り方を共創していくことを目指しながら、これからも実態や質量あるモノと美意識をもって向き合い、真剣に考え続け、活動を続けていきます。 <http://wearemethod.com>

プロジェクト一例

国立新美術館ミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」、21_21 DESIGN SIGHT「21_21 SHOP」、「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、「made in ビエール・エルメ」、「燕三条 工場の祭典」 「NOT A HOTEL」など。

□ GENERAL CONTACT :

method Inc.

東京都渋谷区東 1-3-1 カミニート #14

info@wearemethod.com tel. 03-6427-9296

□ PRESS CONTACT :

デイリープレス

東京都目黒区青葉台 3-5-33 川辺ハイツ 1F

info@dailypress.org tel.03-6416-3201